

事業計画書

① 団体名	特定非営利活動法人だっぴ
② 事業名	高校生と地域をつなぐ放課後のキャリア探究
③ テーマ区分	*いずれかにチェックし、指定テーマの場合は番号を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 指定テーマ (番号: 2) <input type="checkbox"/> 自由テーマ
④ 補助回数	*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック <input checked="" type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回目(経過措置) <input type="checkbox"/> 4回目(経過措置)
⑤ 現状及び課題	当法人のアンケート調査によると、より納得した進路選択をしたいと思っても将来に希望が持てない中高生が5人に1人、そもそも将来に希望を持てない中高生は2人に1人だった。 とりわけ総合学科・総合コースに所属する高校生においては、次の3つの課題がある。 ① モラトリアム的で、多岐にわたる進路の選択肢(進学か就職かなど)を選びきれない。 ② 生徒像が多様・多層的で既存カリキュラムでは個別最適化が難しい。 ③ 限定的・閉塞的な周囲の関係性が視野の狭い進路選択を招いている。
⑥ 事業目的	高校生が様々なロールモデルに出会い、将来の可能性を広げる。 放課後の時間を使った人材育成の仕組みをつくる。
⑦ 事業内容	事業項目1 出合いの場の設定 1 ※位置づけ(狙い)、内容、受益者(対象者)、実施地域、実施方法など ねらい 高校生が大学生や大人との出会いを通して新たな選択肢を見つけ、より高い目標に向かって成長できる。 対象 高校生 実施地域 県立矢掛高等学校 実施方法 時間 1時間(放課後の16時~17時) 頻度 月2回(オンライン/対面を1回ずつ) オンラインでは大学生と、対面では大人と関わる空間をつくる。設定されたテーマに関連する人たちが集まり、高校生は自由参加。
	事業項目2 出合いの場の設定 2 ねらい 高校生が大人との出会いを通して自分の関心事を深め、より高い目標に向かって成長できる。 対象 高校生 実施地域 県立鴨方高等学校 実施方法 時間 1時間(放課後の16時~17時) 頻度 月1回 設定されたテーマに関連する大人を招聘し、高校生と関わる空間をつくる。高校生は自由参加。
	事業項目3 外部人材活用のサポート ねらい 地域の大人を生き方・働き方の視点からWEBにアーカイブし、中高生のキャリア探究促進と学校教員の外部人材活用のサポートに寄与する。 対象 中高生・学校教員 実施地域 備中県民局エリア 実施方法 事業1・2で関わった大人をWEBメディア「生き方百科」にアーカイブする。インタビュー&ライティングは主に大学生が担当。

	*天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応 オンラインの事業のみ実施する			
⑧事業の条件及びアピールポイント	先進性、先駆性、独創性 ・放課後の時間を使った学びの個別最適化 ・高校内に大学生や大人が高校生と混ざる空間をつくる			
	備中地域への波及効果 ・地域の魅力的な人材との関わりから地域愛着の形成・地元定着の可能性を高める ・事例を他の中学校や高校に横展開する			
	県民局との協働による相乗効果 ・市町村を越えた多様なステークホルダーとの連携			
	その他、団体の持つ専門性やノウハウ等 ・高校生と信頼関係を築くノウハウ ・それを実行する大学生のコーディネート			
⑨今年度に期待される成果・効果 (短期アウトカム)	県民(対象者) 高校生 ・異なる他者と関わることができる ・自分の(関心のある分野について)問いをもつことができる ・自分の住む地域への希望が生まれる			
	団体			
	学校	・高校生のキャリア探究(進路学習)において、地域連携の方策を1つ獲得する		
	備中地域	・様々な地域の人材育成に関わる		
⑩将来的に期待される成果・効果 (中・長期アウトカム)	県民(対象者) 高校生 ・自分の将来への希望を抱き、目標ができる ・自分をもつ能力に期待でき、挑戦や試行錯誤を続けられる ・他者と関わるソーシャルスキルを身につけている ・地域に貢献したいと思う			
	団体			
	学校	・地域との協働性が高まる ・高校生の学びの個別最適化ができる ・教員の負担軽減		
	備中地域	・若者のUターンがまちの活力を支えている ・地域活動に高校生が参画し、地域が活性化される		
⑪今年度の成果目標と評価指標	成果目標1 高校生社会理解を進め、生き方や働き方に関する知見を深める			
	評価指標・測定方法	数値目標		
		現状	今年度	(参考)〇年度
	振り返り時、自分が獲得した新たな知見を具体的に文章で書ける	—	90%	R5年度の目標は、R4年度の調査(事業評価)をもとに設計する。 以下同じ
	成果目標2 高校生暫定的な目標設定につながる自分の問いをもつことができる			
評価指標・測定方法	数値目標			
	現状	今年度	(参考)〇年度	
振り返り時、自分がこれから考えたい問いを文章で書ける	—	80%		

	成果目標 3 高校生異なる他者と関わる力が身につく											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標・測定方法</th> <th colspan="3">数値目標</th> </tr> <tr> <th>現状</th> <th>今年度</th> <th>(参考)〇年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「相手の考えや意見を聴き、理解しようとしている」「自分の考えや気持ちを整理して伝えようとしている」の肯定的回答率(調査結果で測定)</td> <td>—</td> <td>80%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標・測定方法	数値目標			現状	今年度	(参考)〇年度	「相手の考えや意見を聴き、理解しようとしている」「自分の考えや気持ちを整理して伝えようとしている」の肯定的回答率(調査結果で測定)	—	80%	
評価指標・測定方法	数値目標											
	現状	今年度	(参考)〇年度									
「相手の考えや意見を聴き、理解しようとしている」「自分の考えや気持ちを整理して伝えようとしている」の肯定的回答率(調査結果で測定)	—	80%										
⑫中・長期的な成果目標	多様な大人と関わる空間をつくることで以下の成果を達成する。 ・個別最適化された進路選択ができる ・ソーシャルスキルが向上する また、空間づくりのノウハウを多くの学校や地域と共有し、同様の成果が生まれる地域を増やす。											
⑬事業展開の予定	中学生・高校生だっぴを開催している備中エリア（もしくは岡山県内の15市町村30校）の学校に対して事例を共有し、関心をもった学校から導入・横展開していく。既存プログラムと連動性をもつビックピクチャーに共感してもらうことで、寄付の可能性も高める。											
⑭役割分担	団体											
	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト全体のマネジメント ・プログラム企画運営 ・大学生のコーディネート ・WEBメディア「生き方百科」の運営 ・各学校のコーディネーターとの連絡調整 											
	県民局											
	<ul style="list-style-type: none"> ・県民局が関係性をもつ組織や機関への事業協力依頼 ・県民局管内への情報発信 											
	その他の連携・協力団体（組織・団体名：一般社団法人moko'a、一般社団法人やかげ小中高こども連合）											
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する高校生への声掛け ・プログラム企画運営 ・大人のコーディネート 											

<記入上の注意事項>

- 1 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 2 「④補助回数」欄の3回目及び4回目は、経過措置規定を適用した上で、令和2年度事業に採択された事業を令和3年度以降も継続実施している場合のみ選択ができます。
- 3 「⑤現状及び課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 4 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境等）について、「⑤現状及び課題」、受益者（対象者）等を踏まえて記入してください。
- 5 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ（狙い）とともに、内容、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応（代替案の検討、事業縮小、事業中止等）についても併せて記入してください。なお、事業項目数は適宜追加いただいて構いません。
- 6 「⑧事業の条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性と協働による相乗効果に関すること、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
- 7 「⑨今年度に期待される成果・効果」欄は、事業実施により得られる今年度の利益や変化等について記入し、「⑩将来的に期待される成果・効果」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られる利益や変化等について記入してください。
- 8 「⑪今年度の成果目標と評価指標」欄は、今年度事業で目指すところ（短期の成果目標）を個別・具体的に3つ程度記入するとともに、事業を評価するための指標と、実施前（現状）と実施後（目標）の数値を記入してください。また、事業を継続される場合は、翌年度若しくは数年後（目標）の数値も参考として記入をお願いします。なお、具体的な数値が得られないもの（定性評価）についても、「何割程度の回答が得られる」などのように、できるだけ数値化し、状態の変化を測るよう努めてください。

- 9 「⑫中・長期的な成果目標」欄は、事業を継続、段階的に拡充するなどし、中・長期的に目指すところ（中長期の成果目標）について、具体的に記入してください。
- 10 「⑬事業展開の予定」欄は、「⑥事業目的」や「⑫中・長期的な成果目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
- 11 「⑭役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を簡潔に記入するとともに、その他の連携・協力団体の役割等を記入してください。
- 12 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。

日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
4 月	【共通】 事業の全体設計 ・ 学校との打合せ ・ 年間スケジュールの作成 ・ 運営体制を整理 【共通】 企画運営メンバーのスタッフィング ・ 大学生の募集 ・ その他必要な人材への協力要請	学校	
5 月	【共通】 企画運営メンバーのキックオフ ・ 目標の共有や運営方針の確認 ・ 運営手引き (試案) の作成	学校	
6 月	【事業 1・2】 パイロット版実施 以下項目の見直し ・ 評価項目 ・ 運営方法 ・ 事業の全体設計	学校	月 1 回/校
7 月	【事業 1・2】 ・ 専門家相談 (以降 4 半期を目途に相談) ・ 先進事例の視察	学校	月 1~2 回/校
8 月	【事業 1・2】 本格稼働 【事業 3】 インタビュー&ライティング開始	学校 オンライン	
10 月	【共通】 中間点検 ・ 2 校の比較検証 ・ 今後 (今年度) の目標の再設定		
11 月	【共通】 次年度計画の策定		
2 月	【共通】 事例報告	オンライン	

< 記入上の注意事項 >

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください (例: ○○市文化センター、△△市内)。
不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。